令和6年度　学校評価アンケート（令和6年12月実施）

学校評価アンケート　生徒結果

A：よくあてはまる　B：あてはまる　C：あまりあてはまらない　D：あてはまらない

		質　問　項　目	A	B	C	D	後期 A+B	前期 A+B	前期との比較	ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ R6目標値
学校生活	1	学校の中に自分が安心して生活できる時間や場所がある。	64.1%	31.0%	4.8%	0.0%	95.2%	95.6%	−0.4%	
	2	学校生活を楽しく過ごしている。	65.9%	29.3%	4.1%	0.7%	95.2%	94.0%	1.2%	
	3	学校であったできごとや友達のようすを家の人によく話している。	54.5%	29.0%	12.8%	3.8%	83.4%	82.7%	0.8%	
	4	友達と協力し、助け合って生活している。	64.8%	31.7%	3.4%	0.0%	96.6%	96.8%	−0.2%	
	5	将来の夢や中学校卒業後の進路について考えている。	45.9%	31.7%	18.6%	3.8%	77.6%	74.6%	3.0%	
	6	学習や生活、進路の悩みを誰かに相談している。	35.9%	33.8%	23.4%	6.9%	69.7%	68.1%	1.5%	
学力向上	7	授業中は、先生の話をよく聞き、その時間内に理解できるように努めている。	50.3%	43.4%	5.9%	0.3%	93.8%	94.8%	−1.0%	
	8	授業中、わからないことは先生や友だちに聞きながらできるようにしている。	49.3%	40.3%	8.3%	2.1%	89.7%	89.1%	0.5%	
	9	宿題や作品、提出物は、期日までに必ず提出するようにしている。	54.1%	32.1%	11.4%	2.4%	86.2%	85.9%	0.3%	
	10	授業中は、進んで発表したり、説明したり、友達と考えを比べながら学習している。	34.8%	34.8%	25.2%	5.2%	69.7%	67.7%	1.9%	80%
	11	授業中、端末（クロームブック）を有効に活用することで授業が分かりやすいと感じている。	53.4%	37.6%	7.2%	1.7%	91.0%	94.8%	−3.7%	
	12	家庭学習を進んで行い、学力向上を目指している。	43.1%	39.0%	15.9%	2.1%	82.1%	81.9%	0.2%	
	13	家庭でも端末（クロームブック）を有効に活用して学習に取り組んでいる。	28.3%	26.2%	28.3%	17.2%	54.5%	60.9%	−6.4%	
豊かな心	14	あいさつや礼儀、正しい態度、場に応じたことば遣いができるように努めている。	64.8%	33.1%	2.1%	0.0%	97.9%	98.0%	−0.1%	
	15	地域の方に自分から進んであいさつをしている。	64.1%	25.9%	8.3%	1.7%	90.0%	92.3%	−2.3%	
	16	人をばかにしたり、からかったり、仲間はずれにしないようにしている。	62.8%	31.0%	1.4%	4.8%	93.8%	95.2%	−1.4%	100%
	17	学校行事などの特別活動には積極的に参加している。	62.4%	31.0%	5.9%	0.7%	93.4%	91.1%	2.3%	
	18	公共のルールやマナーを守ったり、公共の施設や用具をよごしたり、壊したりしないように気をつけている。	83.8%	15.2%	0.3%	0.7%	99.0%	99.6%	−0.6%	
健康・体力	19	食事や睡眠などの望ましい生活習慣が身についている。	45.9%	35.9%	15.9%	2.4%	81.7%	81.5%	0.3%	90%
	20	交通ルールを守り、たすきやヘルメットを忘れず、安全な登下校に努めている。	87.6%	11.7%	0.3%	0.3%	99.3%	99.6%	−0.3%	
	21	試合やコンクールを目指して、部活動に積極的に取り組んでいる、取り組んできた。（入部していない生徒は無回答）	74.5%	20.7%	4.0%	0.8%	95.2%	96.0%	−0.7%	
	22	スマホやゲーム機、端末（クロームブック）を使用する際に、家庭内でルールを守って使用している。	55.2%	33.1%	6.9%	4.8%	88.3%	89.5%	−1.2%	

ｱﾝｹｰﾄNo	【考察と改善案】
1・2・4	・学校生活は、概ね友達と楽しく関わり合いながら安心して生活できている様子であるが、さらに全員が安心して生活していけるよう支援していく。また、C、Dと回答した生徒には、教育相談等を通して個別に支援していく。
5	・将来の夢や中学校卒業後の進路について考えている割合が3.0%増加した。将来を見据えたキャリアデザインができるよう今後とも支援していきたい。
6	・悩みを相談できずにいる生徒の割合が前期と比べて1.5%減少したが、依然として30.3%（C、D評価）であるので、教育相談の機会の確保や校内オンライン相談窓口の周知など、より相談しやすい体制づくりに努めていく。また、引き続きSCや校内ﾌﾘｰｽｸｰﾙ支援員の効果的活用を図っていく。
7・8	・学習にまじめに取り組み、理解に努めている生徒が9割程度（A、B評価）いる。わからないところを先生や友達等に質問し解決していく力を引き続き育んでいきたい。
10	・積極的に発表や説明をしたり、友達の考えと比べながら考えたりすることにA評価と回答した生徒の割合が前期の23.0%から34.8%へ増加（11.8%↑）した。今後ともICTを効果的に活用しながら、学習活動の中に学び合う機会を意図的に組み込むなどして、継続的な指導に努めたい。
11・13	・授業における端末（クロームブック）の活用については前期と比べて3.7%減少しているものの、概ね（91.0%）できている。しかし、依然として家庭での有効な活用の仕方に課題があるので、NHK for Schoolやすららドリルなど、家庭学習での端末を活用した学習方法について支援していく。
16	・からかいや仲間はずれをしないようにしている生徒のA、B評価の割合は93.8%と高い。引き続きA、B評価の割合が100%となるよう、相手を思いやる気持ちをあらゆる機会をとらえて育んでいきたい。
19　保10	・望ましい生活習慣が身についていると考える生徒が81.7%（A、B評価）いる反面、保護者は65.2%（保護者アンケートA、B評価）しかそう考えていない。健康タイムでの指導の充実や家庭との連携強化を図りながら、改善に努めていく。
22　保12	・ルールを守ってスマホやゲーム機、端末（クロームブック）を使用していると考える生徒が88.3%（A、B評価）いる反面、保護者は59.4%（保護者アンケートA、B評価）しかそう考えていない。家庭と連携した計画的かつ継続的な指導に努める。また、子どもと親双方が納得するルールづくりの支援をしていく。